ずっとこの街で暮らしたい その願いのために　2012年７月11日発行

百日草（ひゃくにちそう）

No.21

特定非営利活動法人たすけあい大田はせさんず
〒146-0082 東京都大田区池上4-28-3
TEL03-5747-2610 FAX03-5747-2620
e-mail•hasesanz@yg7.so-net.ne.jp
URL•http://www007.upp.so-net.ne.jp/hasesanz/

住みやすい地域づくり、お隣とのふれあいから

特定非営利活動法人たすけあい大田はせさんず
理事長　**坂口郁子**

今年４月の介護保険法改正により、すでに問題が起こっています。従来60分または90分となっていた生活援助が、45分または60～70分程度となり実質的なサービスカットである、効率化でヘルパーが利用者とふれあう時間が少なく利用者が不安を感じている、などの声が介護職から出ています。デイサービスでは７～９時間のサービスが標準になりました。事業所側は従来の時間では採算がとれないので、やむをえず７～９時間のサービスにしていますが、長すぎて利用者が疲れるという意見もあり、利用者本位かどうか疑問に思えます。

改正の柱の１つである24時間365日のサービスについては、大田区では手を挙げた事業者がないので今年度は見送るといった低姿勢です。次年度は１事業者を予定しているとか――。大田区の「日中・夜間を通じた定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの整備をすすめます」は、今年度ではないということです。

制度があっても利用ができないのでは、保険料だけが積み上がっていくことになりそうです。施設より在宅への流れを行政は打ち出していますが、はたして在宅で医療も介護も心配することなく受けられる日がくるのでしょうか。確かなことは今まで以上に助け合いに力を入れていかなければならないということです。

はせさんずでは前年より引き続き、公益財団法人さわやか福祉財団の東日本大震災被災地支援で、関東ブロックとして石巻市雄勝地区にかかわっています。５月12日、13日に実施された現地の集会にも参加しました。現在の問題点は住居地域の設定です。行政はあくまで高台移転に固執していますが、住民は海が見える場所に土地を嵩上げして街づくりをしたい、みんなが一緒に住める街にしたいとして話し合いは難航しています。ただ高台に家を作っても住む人がいないのでは何にもならない……。非常に難しい話し合いです。街の未来を考えみんなが戻って住める場にならなければなりません。

さて、市民後見事務所は週５日開所しています。５月に入って相談があり申請の話し合いをする予定です。市民後見人が増えることはその地域を住みやすくすることです。今年度も市民後見人のための講座を開催予定です。

少子高齢化は待ったなしで進行しています。私たちの住む地域を助け合ってよくしていくために、まずお隣とのふれあいから始めましょう。高く遠く視点を置くことも大切ですが、まずふれあえる場でのコミュニケーションこそ大切に……。

第14回通常総会開催

議案のすべてを承認

第14回通常総会が、５月27日㈰10時より、はせさんず事務所１階デイホームにて開催されました。

社員総数27名のうち出席者16名、委任状表決者９名によって総会は成立し、下記の５議案が異議なく承認されました。

第１号議案　2011年度事業報告
第２号議案　2011年度決算報告
第３号議案　2012年度事業計画（案）
第４号議案　2012年度予算（案）
第５号議案　定款変更（案）

●2012（平成24）年度事業計画

［会員制活動事業］

認定NPO法人初年度申請を行うとともに寄付者の協力を呼びかけます。10月には包括的地域ケアをテーマに講演会（シンポジウム）を開催します。元気かいは高齢者の介護予防となる活動を継続していきます。

外部団体や地域といっそうの交流・連携を図り積極的に活動に参加します。

［介護保険訪問介護事業］

介護保険改正でヘルパーに認められた医療行為に関する研修に参加し、今後のサービスを検討します。サービス提供責任者とヘルパーが利用者情報を共有するためのケアカンファレンスを増やす、ヘルパー研修会を実施するなどして、より質の高いサービスを心がけます。

大田区訪問介護事業者連絡会に参加し、他事業所と情報交換します。

［介護保険居宅介護支援事業］

地域包括支援センターと連携し予防利用者を一定数引き受けるとともに、介護保険改正による医療連携のために病院、介護老人保健施設の訪問を増やします。ケアマネジャーを増員して事業所体制を強化し、利用者数増加を図ります。

大田区介護支援専門員連絡会に委員として参加し、他団体と連携します。

［介護保険通所介護事業］

利用者満足度調査を実施してニーズの把握に努め、サービス内容を見直して、既存サービスの充実や新規サービスの開発を行います。介護保険改正に伴うサービス時間変更等を検証し、運営内容を再検討します。

大田区通所介護事業者連絡会に参加し、他事業所と情報交換します。

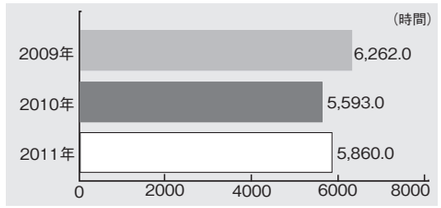
［障害福祉サービス事業］

障害者対応のヘルパー研修会を実施し、特に知的障害者を支援するヘルパーを増やしていきます。

大田区自立支援協議会に委員として参加し、地域の障害者福祉に貢献します。

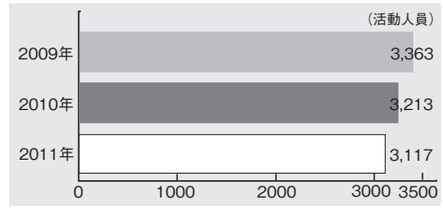
■2011（平成23）年度事業報告資料（３年間の部門別活動状況）

［会員制活動事業］



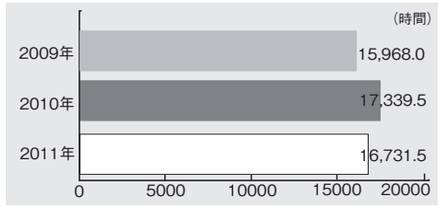
福祉有償運送の需要が多くなって利用者が増え、活動時間、活動件数とも前年度を上回った。活動者数も少しずつ増加している。

［元気かい］



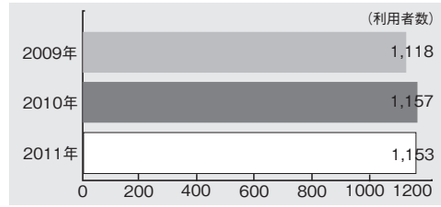
年間を通して順調な活動を行った。健康マージャンの参加者が引き続き多く、前年度から開始した英語サークルの参加者も定着している。

［介護保険訪問介護事業］



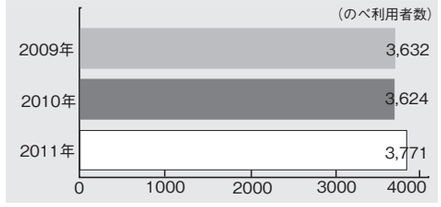
サービス実績は前年度比96.5％ではあったが、研修会やヘルパーハンドブックの改訂などサービスの質を上げる内部体制の充実に努力した。

［介護保険居宅介護支援事業］



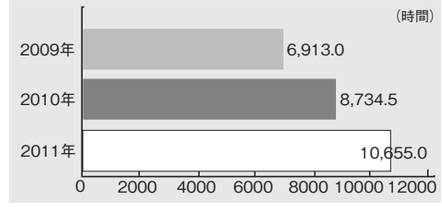
目標にそった活動を実施。介護から予防に変わる利用者を継続して支援するため、複数の地域包括支援センターと予防居宅介護支援の委託契約を結んだ。

［介護保険通所介護事業］



サービス実績は前年度比104.1％と増加したが、職員の交代が続き、利用者の希望にそったアクティビティの検討が十分行えないところがあった。

［障害福祉サービス事業］



サービス実績は前年度比121.9％と2年連続の増加。朝９時前の通学・通所や夜間・休日の支援に、ヘルパーだけでなく常勤スタッフも活動した。

［その他の事業］

市民後見人事業として相談事業を行い、養成講座も引き続き実施します。行政や学校などのヘルパー養成や学習会への講師派遣、実習生の受け入れなども継続します。

●決算・予算について

2011（平成23）年度の会員制活動、訪問介護、居宅介護支援、通所介護等を合わせた法人全体の総収入額は１億4,689万円（前年度比99.9%）、総支出額は１億3,929万円（前年度比103.9%）。当期収支差額は760万円の黒字となりました。市民後見事業費は東京都補助金や寄付金を活用しました。介護保険事業や障害福祉サービス事業は前年度なみの収支差益を確保しました。

2012（平成24）年度の活動目標は以下のとおり。居宅介護支援、通所介護および

はせさんずに、ご寄付をありがとうございました

2011（平成23）年度寄付者

青木かおり	青木尚文	青木良子	尼子幸子	入野　豊	上田隆正	臼田豊子
馬道カ子	漆原冨紀子	大澤恵美子	門野定雄	小林恵子	坂口郁子	佐藤京子
桟敷洋子	鈴木隆子	鈴木悦朗	角谷美智子	武井　修	高島久忠	田島久恵
中田和美	中村貴佐子	根本信彦	治武節子	人見敏郎	松尾露子	松本弘子
丸山千代	三村　勲	宮　輝彦	村石美佐子	矢嶋早苗	柳村ツギ	渡邉　欣

匿名１名

池上長寿園　　NPO法人大田教育支援の会　　NPO法人多摩川にこにこ倶楽部

東京厚生信用組合　　民事法務協会　　老人給食協力会

以上36名（敬称略五十音順）と６団体、総額4,366,260円でした。皆様からのご芳志は、はせさんず運営費として有効に使わせていただきました。なお、東京都共同募金より福祉活動助成金1,500,000円、東京都より市民後見事業補助金1,443,450円の交付を受けています。また、フリーマーケット売上金は516,730円でした。

障害福祉サービスが前年度よりやや増えていますが、他の活動は前年度とほぼ同じです。

会員制活動：活動時間6,000時間
訪問介護：活動時間16,800時間
居宅介護支援：ケアプラン1,400件
通所介護：利用者数3,780人
障害福祉サービス：活動時間9,000時間

これに基づき、前年度より約650万円多い１億3,841万円の予算となっています。

●定款変更について

NPO法（特定非営利活動促進法）の改正に伴い、本文中の「収支」の表記を「活動」に変更します（「収支予算」→「活動予算」など３箇所）。法人の事業内容には変わりありません。

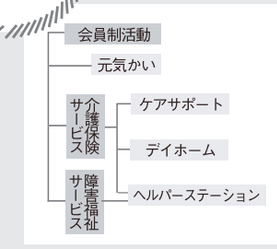
2012（平成24）年度月別活動予定

４月	『はせさんずニュース』No.58発行、職員全体研修
５月	第14回通常総会、職員全体研修
６月	ヘルパー研修会、第１回市民後見人養成フォローアップ講座、デイホーム利用者アンケート実施、職員全体研修
７月	『百日草』No.21発行、移送活動者安全研修会、新入職員防災避難訓練、職員全体研修
８月	『はせさんずニュース』No.59発行、活動者懇親会
９月	健康検診（検便）、ヘルパー研修会、第２回市民後見人養成フォローアップ講座、職員全体研修
10月	『はせさんずニュース』No.60発行、防災避難訓練、シンポジウム開催（基調講演・堀田力さん）、職員全体研修
11月	知的障害者ヘルパー研修会、フリーマーケット参加、第３回市民後見人フォローアップ講座
12月	年末懇親会
１月	『はせさんずニュース』No.61発行
２月	移送活動者情報交換会、第４回市民後見人フォローアップ講座
３月	ヘルパー研修会

mini News

各部門 今年度はここが重点！

会員制活動
「第二の家族」となれるよう…

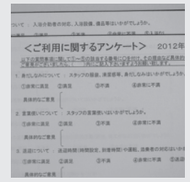


小家族の時代、自宅で暮らし続けるためには地域とのつながりがますます必要に。会員制たすけあい活動が第二の家族となれるよう、会員同士の顔が見え、安心安全な地域生活づくりへと、さらに活動の質を高めたいと思います。（佐藤悟）

ヘルパーステーション
医療ケアへの取り組みについて

介護職に経管栄養や痰の吸引を認める法改正がなされました。医療ケアが必要でも、住み慣れた自宅で過ごせるようにとの対策のひとつ。ヘルパーにとっては、研修後も多くの経験が必要で、簡単なことではありません。まずサービス提供責任者が研修を受け、事業所の体制なども検討していきます。（桟敷洋子）

デイホーム
ご利用者の満足向上をめざして



ご利用の皆様により満足いただけるよう変革の年にしたいと考えています。これまでの見直しと新サービス開発を重点項目にあげ、一人ひとりが責任をもって検討しています。スタッフ個々の能力を高め、当ホームへの率直なご意見を伺うための『ご利用者アンケート』も計画・実施します。（新留信弘）

ケアサポート
地域との連携を実践へ

地域包括ケア実施の年です。さわやかサポートや地域の社会資源との連携を密にし、具体的なサポート体制の構築に取り組まねばなりません。病院から在宅へ、施設から在宅へと、高齢者が地域に戻りつつある今、どのような状況であっても安心して暮らせる町づくりをテーマにがんばります！（牧野晴美）

元気かい
着実に介護予防に向けて

2011年度の参加者は3,117名でした。英語サークルを立ち上げ約２年経過しましたが欠席者も少なく楽しく学んでいます。さて、毎月第４水曜日に行っているフリートーク（題材なし）に俳句を取り入れてみました。体を動かすことも大事ですが、頭の体操も大切と考えています。（中谷三郎代筆井元）

私たちのあゆみ

2011（平成23）年４月～2012（平成24）年３月

2011. 4. 8(金) 『はせさんずニュース』No.54発行　以後9.15No.55、11.23No.56、1.24No.57発行

12(火) 大田区介護支援専門員連絡会　以後全12回　牧野

13(水) 大田区NPO活動団体交流会　以後全12回　矢嶋

15(金) 大田区通所介護事業者連絡会　以後全14回　新留

18(月) 東京都社会福祉協議会在宅福祉部会　以後全6回　矢嶋

19(火) さわやか福祉財団　以後全8回　坂口

20(水) 東日本大震災被災地支援（市民福祉団体全国協議会主催）　仙台市若林区　三浦

東日本大震災被災地支援（大田区被災地支援ボランティア調整センター福祉分科会としての活動）　以後全12回　矢嶋・佐藤

15 周年交流会

27(木) 大田区訪問介護事業者連絡会　以後全12回　桟敷

5．8(日) 池上地区まちおこしの会（環境部会）ゴーヤ苗配布・池上祭・防災研修等　全9回　佐藤

10(火) 安全運転管理者等講習会　大澤

13(金) 大田区自立支援協議会　以後全3回　桟敷

29(日) 第13回通常総会・講演会・交流会（法人設立15周年特別企画）

池上会館にて　参加者のべ183名

15 周年を記念して講演と交流会を同日開催。交流会では、昔話に花が咲くシーンがあちこちでみられました。

防災・避難訓練

31(火) 大田区福祉有償運送運営協議会　坂口・吉田

6.12(日) おおた子育てわいわいフェスタ　エセナおおた等にて　矢嶋・佐藤

25(土) ヘルパー研修会「口腔ケア」　池上会館にて　参加者27名

7．4(月) 防災・避難訓練（田園調布消防署久が原出張所指導）

参加者26名

非常時にそなえ、はしごで降りる訓練もします。皆、真剣そのもの。

石巻市雄勝町で喫茶開店

12(火) 『百日草』No.20発行

8.11(木) 東日本大震災被災地支援（さわやか福祉財団主催）

石巻市雄勝町さわやか喫茶／仮設住宅＆男鹿半島慰安バス旅行　参加者のべ7名

困り事の解決・復興支援！

デイホーム床張り替え

23(火) 第19回移送活動者安全運転研修会（協力：池上警察署）

参加者17名

9．3(土) デイホーム床張り替え（東京都共同募金の助成により）

9(金)～22(木) 東洋大学法学部学生研修受け入れ　全9回　2学年2名

大学生は傾聴の実習をとおしてデイホームを体験しました。

東洋大学法学部生研修

■ご冥福をお祈り申し上げます

2011(平成23)年

4月10日 根本　勉　さん 71歳
4月17日 影山　栄子さん 86歳
5月26日 桑名ふみ子さん 96歳
6月 4日 岸　　益英さん 89歳
6月 8日 鈴木　義孝さん 88歳
6月22日 藤田　良一さん 94歳
6月23日 北島　保　さん 68歳
7月 4日 田中　康一さん 90歳
7月11日 河田　普　さん 86歳
7月17日 大平　三郎さん 60歳
7月21日 影山　春男さん 73歳
7月27日 豊田　タケさん102歳
8月10日 川嶋　和子さん 83歳
9月10日 治武　節子さん 85歳
10月30日 渡邉俊太郎さん 88歳
12月12日 田本　安正さん 74歳
12月14日 坪田　秀子さん 82歳
12月17日 亀山　光子さん 91歳
12月29日 関　　進　さん 68歳

2012(平成24)年

1月18日 渡邉　彦利さん 77歳
1月20日 田村　憲義さん 83歳

10. 6(木)～21(金) 大田区職員研修受け入れ　1名／日　全9名

11.10(木) 市民福祉団体全国協議会中期計画策定委員会

以後全4回　佐藤

10(木)～30(水) 大田区社会福祉協議会ホームヘルパー 2級研修実習受け入れ　のべ12名

12(土)・13(日) OTAふれあいフェスタフリーマーケット

大田区平和の森公園にて　参加者のべ55名

品物の提供者、購入者、ボランティア、皆に感謝！

フリーマーケット

16(水) 元気かいデュオコンサート　大田区民プラザにて　参加者79名

29(火)～12.1(木) 大森第十中学校職場体験学習受け入れ　２学年２名３日間

12.1(木) 2012年版パラアートカレンダー制作・販売　136部

パラアートカレンダー

Ａ４サイズに加え、カードサイズのカレンダーも制作して、好評でした。

市民後見人養成講座

3(土)・4(日) 福祉有償運送認定講習　受講生２名

18(日) 第2回市民後見人養成講座　以後全6回　修了生17名

成年後見制度活用の手助けができる人材を市民の手で養成！

21(水) 平成23年度東京都地域支え合い体制づくり事業補助金交付

2012. 1. 6(金) はせさんず市民後見事務所開所式

成年後見制度に関する質問や相談が気軽にできる場として、市民後見人養成講座修了生の活躍の場として生かせたら…

市民後見事務所開所式

2.25(土) ヘルパー研修会「みんなで語ろう、介護サービスの基本」

池上会館にて　参加者31名

身近な事例をもとに話し合い、日頃の工夫や対処法を共有できるようにしました。

ヘルパー研修会

3.10(土)～12(月) 東日本大震災慰霊祭・石巻市雄勝町（さわやか福祉財団とともに支援）　佐藤

mini News

認定NPOになるのに、あと一歩です

認定NPO法人の要件として、「１人3,000円以上の寄付が年平均100人以上あること」が定められています。ただし理事、正会員や利用会員は100人のうちの１人となることはできません。同一住所の人についても、数に入れることはできません。2011（平成23）年度の決算では寄付が430万円もあり、非営利事業の黒字要因となりましたが、寄付の多くが正会員、理事や利用者からでした。

今回手続きのために精査したところ、まだ賛助会員が10名不足していることがわかりました。これからもう一歩、賛助会員を募らなければなりません。

はせさんずが認定NPOになる意義については『はせさんずニュース』でも記しましたが、さらに公益に資する会であるための意思表示です。同時に、認定NPOになることで寄付者の税金控除があり、寄付が得やすくなることです。そのためにもぜひ認定NPOにならねばなりません。賛助会員をお一人でも勧誘してくださるよう、お願いいたします。（理事長　坂口郁子）

はせさんず講演会のお知らせ

独りでも、認知症になってもいつまでも安心して家で暮らせる
――地域包括ケアのまちづくり――

４月の介護保険制度改正で、24 時間の定期巡回・随時対応サービスを中心に医療との連携をさらに密にすべく、地域包括支援センターが改めて中核機関に位置づけられましたが、地域のネットワークづくりは住民の主体的参画なくして構築できません。包括ケアのまちづくりについて、講演者、ゲストとともに考えましょう。

●**第１部　基調講演**：堀田力さん（公益財団法人さわやか福祉財団理事長）
●**第２部　堀田さんと語る**
出席者：松原忠義・大田区長、鈴木央・鈴木内科医院医師、竹本是・多摩川芙蓉ハイツシニアクラブ代表、坂口郁子・NPO 法人たすけあい大田はせさんず理事長
●**開催日**　2012 年 10 月 20 日㈯　13:30 ～ 15:30（13:00 開場）
●**会場**　LUZ（ラズ）大森　※ JR 大森駅徒歩３分、大田区入新井特別出張所のあるビル
●**参加料**　資料代 300 円　※詳細はチラシにて案内します

編集後記

５月21日朝は、観測めがねで金環日食を眺める人が多いなか、移動支援。赤信号で止まったタイミングで「太陽が輪になっているよ」と声掛けをし、二人で雲の間から見える太陽を見上げた。自然の不思議を感じてくれたかな？　楽しい体験でした。『百日草』の発行は年に一度ですが、小さな幸せは日々あるなと感じた日でした。（佐藤悟）